

2026年2月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2025年10月20日



連結業績の概要

2025年3月1日～2025年8月31日



2026年2月期 中間連結会計期間の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2026年2月期Q2累		2025年2月期Q2累		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		2,404	100.0	2,079	100.0	325	15.6
売上原価		808	33.6	634	30.5	174	27.5
	印刷費	104	4.4	107	5.2	△2	△2.5
	労務費	63	2.6	64	3.1	△0	△1.6
	その他売上原価	641	26.7	462	22.3	178	38.5
売上総利益		1,595	66.4	1,444	69.5	150	10.4
販管費		1,513	62.9	1,443	69.4	69	4.8
	人件費	868	36.1	820	39.5	47	5.8
	広告販促費	286	11.9	319	15.3	△32	△10.3
	流通費	15	0.6	15	0.8	0	△5.6
	その他販管費	343	14.3	287	13.8	55	19.4
営業利益		82	3.4	1	0.1	80	—
経常利益		80	3.4	6	0.3	74	—
税金等調整前		80	3.4	6	0.3	74	—
四半期純利益		63	2.6	30	1.5	33	110.1
EPS		¥3.48		¥1.65			



2026年2月期 中間連結会計期間の業績(セグメント別売上高)

(単位:百万円)

2500

2000

1500

連結子会社リンクが運営する
フリーペーパー取次事業等

主力事業の『DOMO』・『DOMO
NET』・『JOB』・『ワガシャ de
DOMO』等のHRテック・RPOなど

2025年2月期中間期

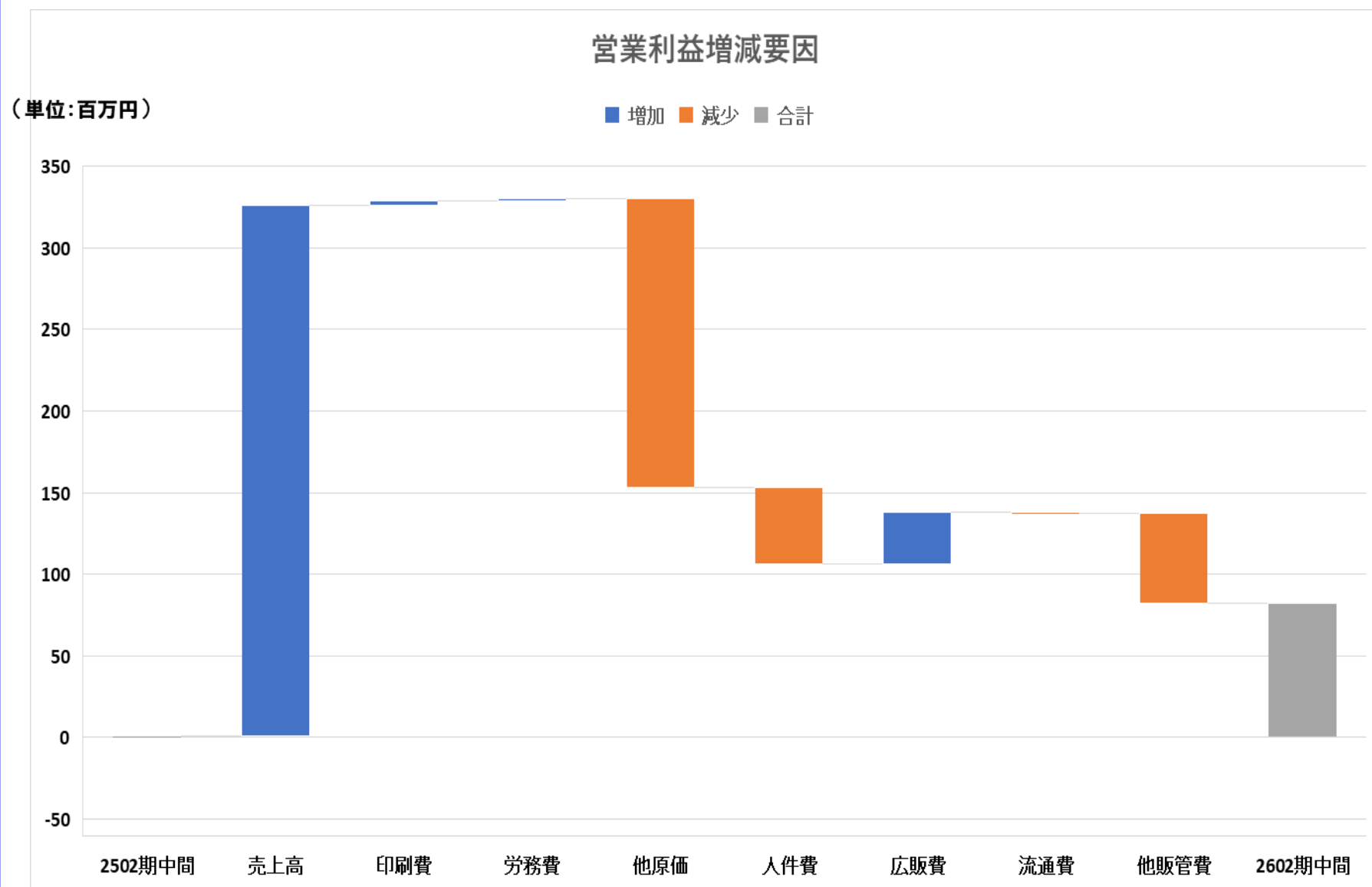
人材サービス事業

販促支援事業

2026年2月期中間期



2026年2月期 中間連結会計期間の業績(営業利益の増減要因)



2026年2月期 中間連結会計期間の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2025年8月末		2025年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	2,144	62.5	2,509	75.6	△365	△14.6
	固定資産	1,289	37.5	808	24.4	480	59.5
	資産合計	3,433	100.0	3,317	100.0	115	3.5
	流動負債	671	19.5	523	15.8	148	28.3
	固定負債	31	0.9	25	0.8	6	25.0
	負債合計	702	20.5	548	16.5	154	28.2
	資本金	455	13.3	455	13.7	—	—
	資本剰余金	545	15.9	545	16.4	—	—
	利益剰余金	3,234	94.2	3,361	101.3	△127	△3.8
	自己株式	△1,506	△43.9	△1,598	△48.2	92	△5.8
	株主資本	2,729	79.5	2,764	83.3	△35	△1.3
	その他包括利益累計額	1	0.0	5	0.2	△3	△71.8
	純資産	2,730	79.5	2,769	83.5	△38	△1.4
負債・純資産合計		3,433	100.0	3,317	100.0	115	3.5
BPS		¥149.30		¥151.43			

2026年2月期 中間連結会計期間の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2026年2月期Q2累	2025年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	249	55	194
投資活動CF	△536	△61	△475
財務活動CF	△103	△96	△7
換算差額	△2	△1	△0
増減額	△394	△105	△288
期首残高	1,979	2,123	△144
期末残高	1,585	2,018	△433

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前中間純利益が80百万円、のれん償却額が29百万円、賞与引当金の増加額27百万円、未払消費税の増加額41百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が65百万円、その他、子会社株式取得による支出が469百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、配当金の支払額が98百万円等となったためです。



当中間連結会計期間の総括

2025年3月1日～2025年8月31日



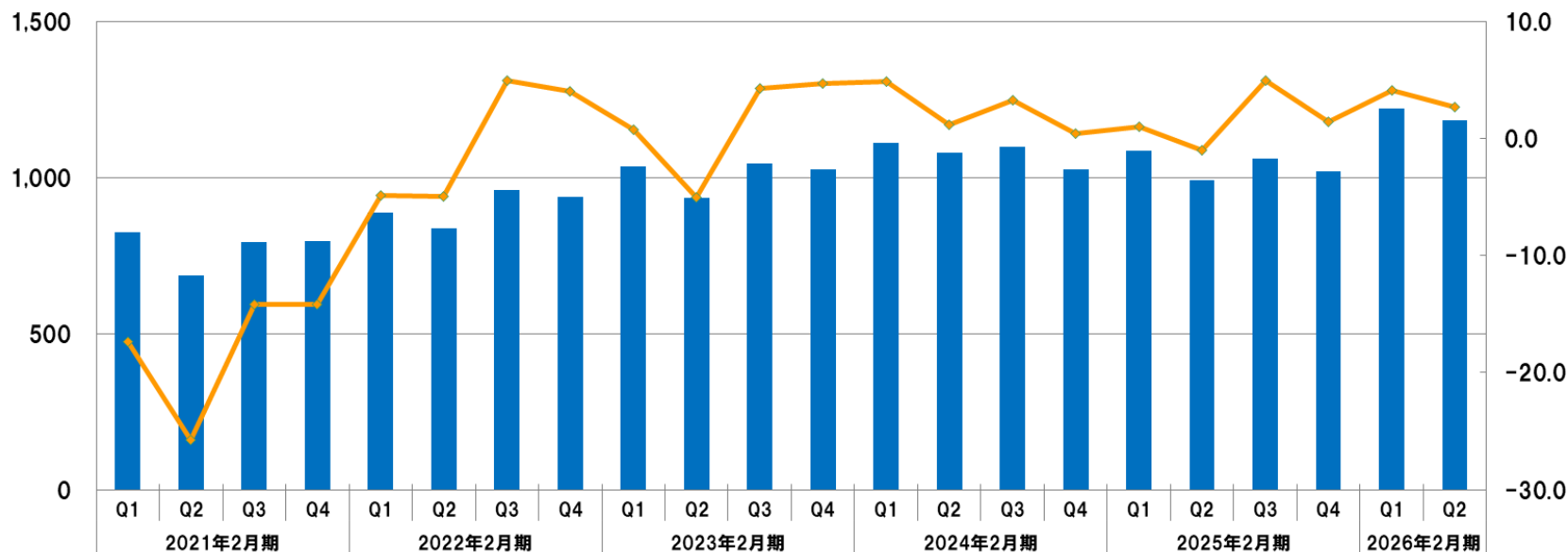
経営環境と業績推移

(単位:百万円)

売上高

営業利益率

(単位:%)



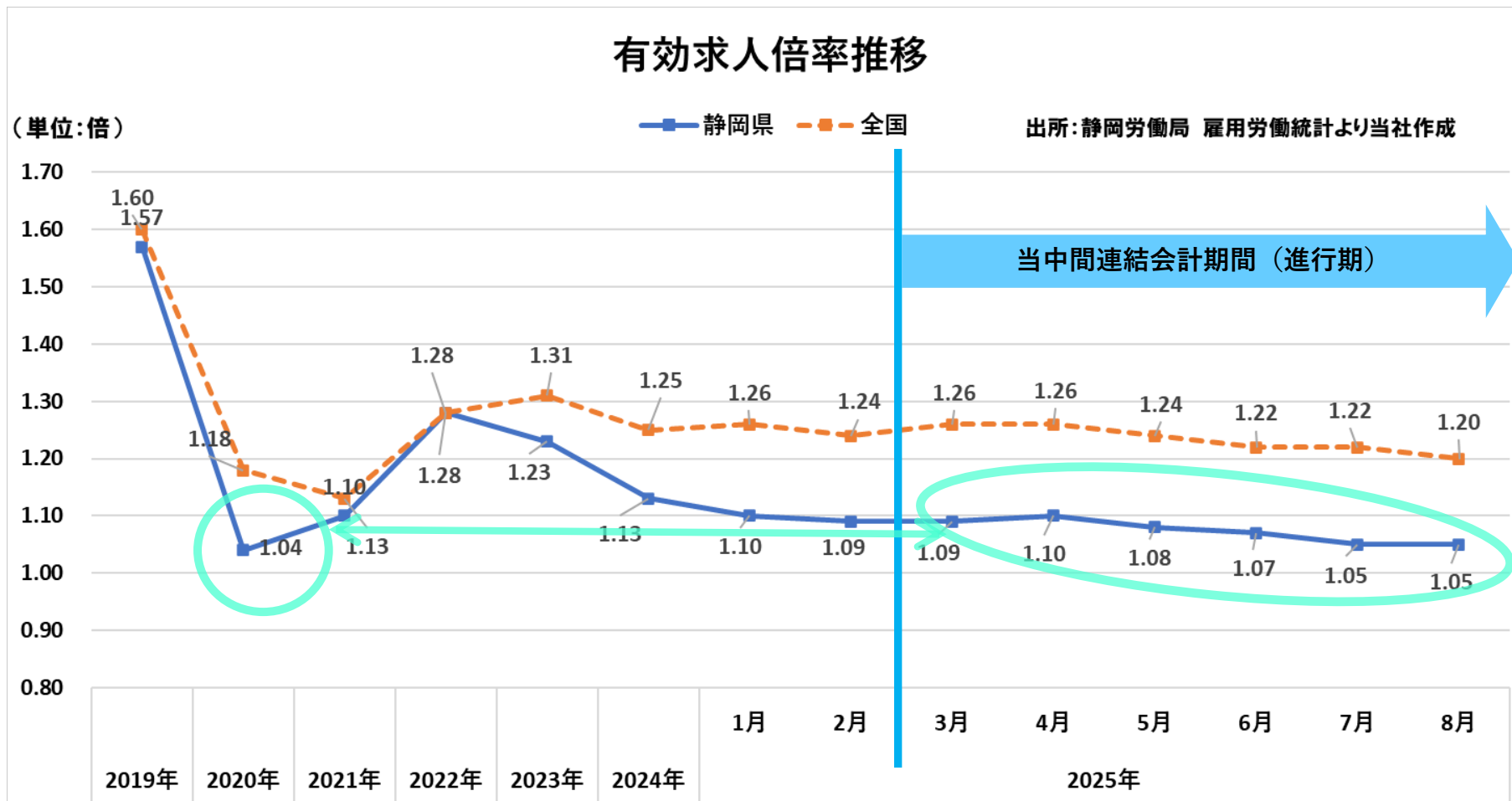
➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。2021年2月期にはコロナ感染症拡大の影響により営業損失を計上。コロナ感染症に伴う行動制限解除に伴い、経済活動が正常化へと進み、徐々に売上が回復し、コスト圧縮効果と合わせ営業黒字を継続して計上しています。
- ◆ 当社の今後の対策としましては、継続した『ワガシャ de DOMO』等のHRテックの拡販に加え、フリーランス・副業人材を中心としたプロのリクレーターを活用したRPO事業への展開や今後需要が見込まれるサービスに集中し、当社の成長に資すると判断したコストにおいては積極的に投資を継続していきます。また、多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、当社の再成長に向けた事業運営を着実に推進してまいります。



事業環境

主力戦略地域の静岡県の有効求人倍率の推移が弱含みであり、コロナ禍中の2020年度と同水準となり、有効求人倍率は全国平均を下回る状態



重点施策

成長に向けた投資の実施

➤ 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【コスト投資】

人件費

投資
増加額

47

百万円

当社の成長に資する
人件費への投資

【新規事業投資】

人材教育関連費用

投資額

96

百万円

人材教育事業の1つである、
IT未経験の新卒者向けの
IT教育事業

【固定資産投資】

固定資産投資費用

投資額

11

百万円

内訳

設備投資関連 0百万円

Web関連投資 10百万円

設備は工具器具備品、Web関
連投資は、主に「ワガシャ de
DOMO」の機能開発など

当中間連結会計期間における成長に向けた投資は154百万円(前年同期119百万円)

※成長に向けたコスト投資において人件費は前年同期比における増加額を投資としております。



重点施策

HRテック「ワガシャ de DOMO」のオプションサービスの拡充および 拡販施策の継続 ならびに RPO事業の展開等

自社専用の採用サイトを簡単に
作成できる採用管理システム(ATS)

ワガシャ de DOMO!

などHRテック事業

【実施内容】

- ◆協業パートナーとの業務提携等による
販路拡大施策の継続
- ◆利便性の追求によるオプションサービスの拡充

売上高
945百万円

HRテック 連結売上高構成比
+50.1%

前中間連結会計期間比

+17.2%

(当中間連結会計期間：内部消去取引前)

※「ワガシャ de DOMO」
と附属する代販商品等の売
上を合算した売上構成比

フリーランスや副業人材を中心とした
プロのリクルーターを活用

RPO事業

【実施内容】

- ◆株式会社WHOMによる
首都圏地域を中心とした新規顧客開拓

売上高
158百万円

連結売上高構成比
+6.6%

前中間連結会計期間比

—%

※サービス展開は当期からのため
(当中間連結会計期間：内部消去取引前)

※今期より、RPO事業とし
て計上している連結商品別
の売上構成比



連結業績予想

2025年3月1日～2026年2月28日



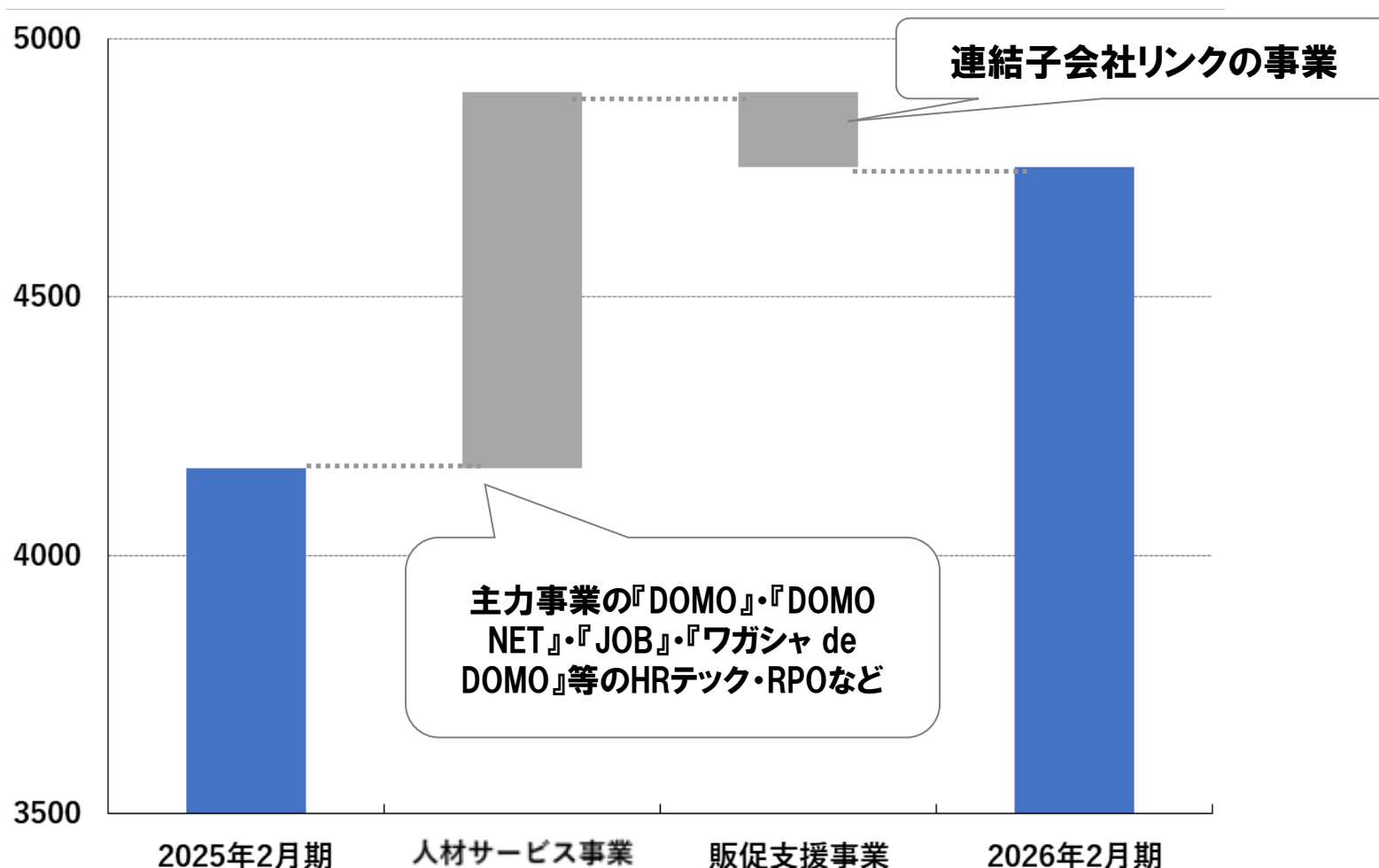
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:％		2026年2月期		2025年2月期		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		4,745	100.0	4,160	100.0	584	14.1
売上原価		1,495	31.5	1,262	30.3	232	18.5
	印刷費	203	4.3	202	4.9	0	0.5
	労務費	125	2.6	127	3.1	△2	△2.2
	その他売上原価	1,166	24.6	931	22.4	234	25.2
売上総利益		3,249	68.5	2,898	69.7	351	12.1
販管費		3,112	65.6	2,892	68.0	282	10.0
	人件費	1,793	37.8	1,625	39.1	168	10.4
	広告・販促費	638	13.5	608	14.6	29	4.9
	流通費	27	0.6	29	0.7	△2	△7.1
	その他販管費	652	13.7	565	13.6	86	15.3
営業利益		137	2.9	68	1.6	69	100.7
経常利益		137	2.9	88	2.1	49	55.6
税金等調整前 当期純利益または当期純損失		137	2.9	△451	△10.8	588	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失		58	1.2	△467	△11.2	526	—
EPS		¥3.21		¥△25.58			



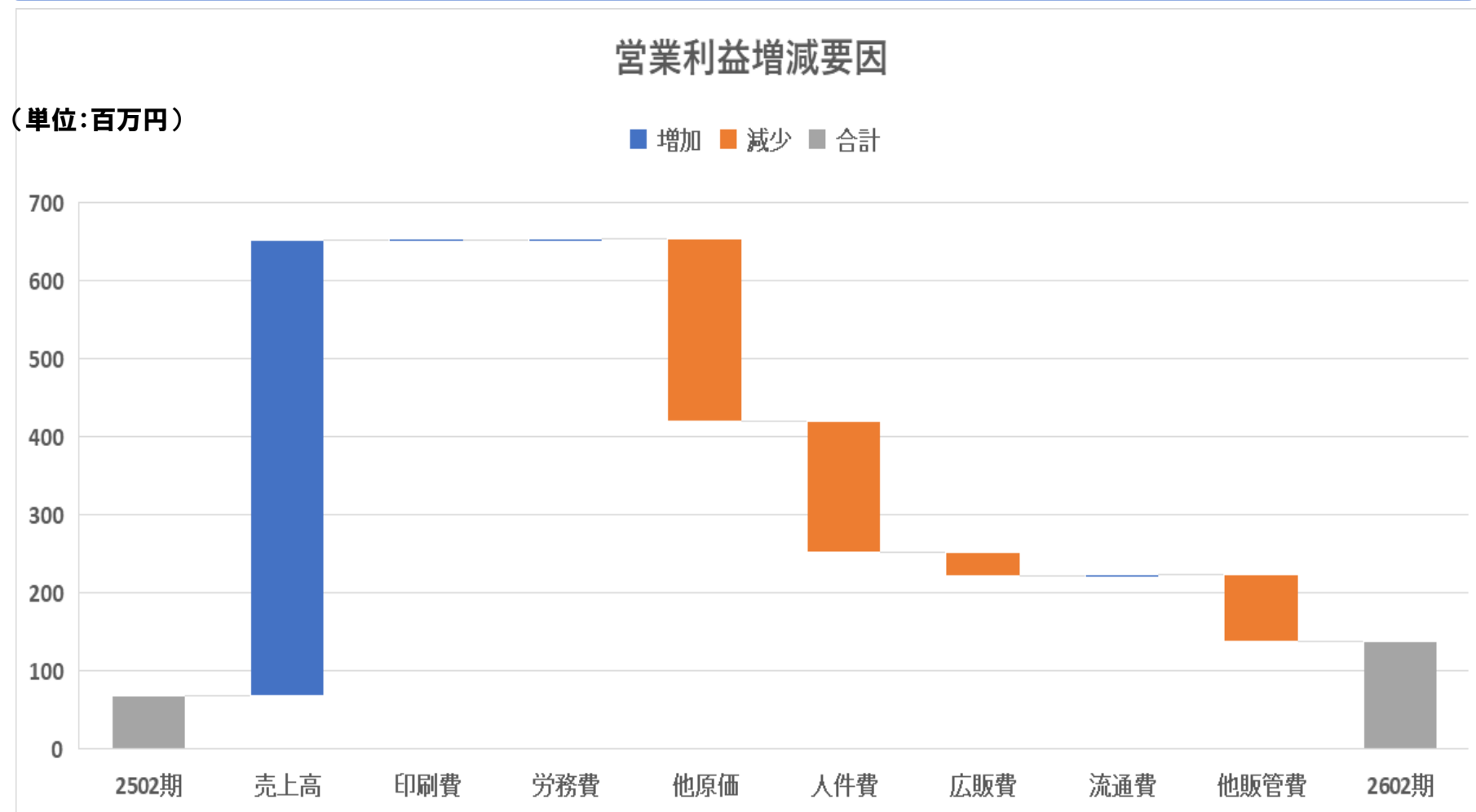
セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費投入も黒字継続

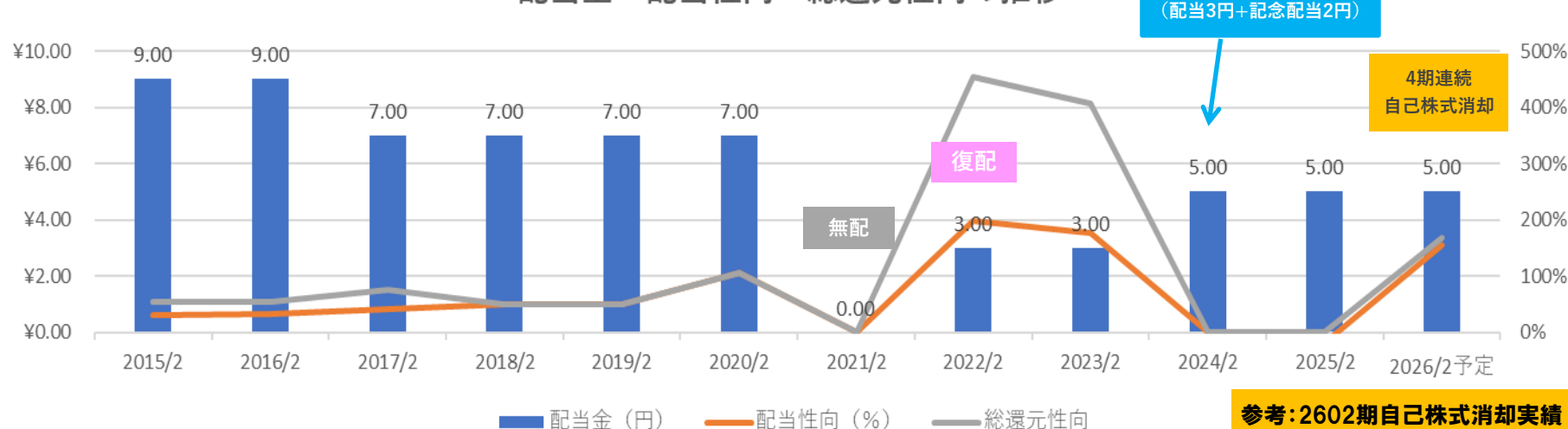


株主還元

当期は前期同様の1株あたり5円の配当を予定しています。

また株主還元の一環として当期2回の自己株式消却(合計170万株)を行っております。

配当金・配当性向・総還元性向の推移



参考:2602期自己株式消却実績
2025/4/17 70万株
2025/10/17 100万株

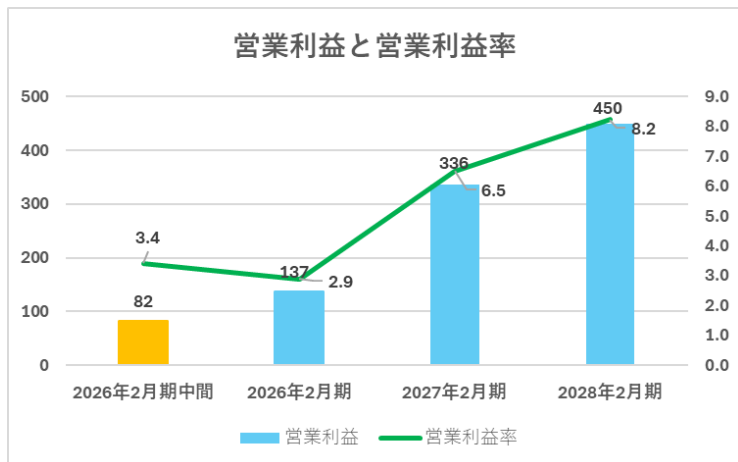
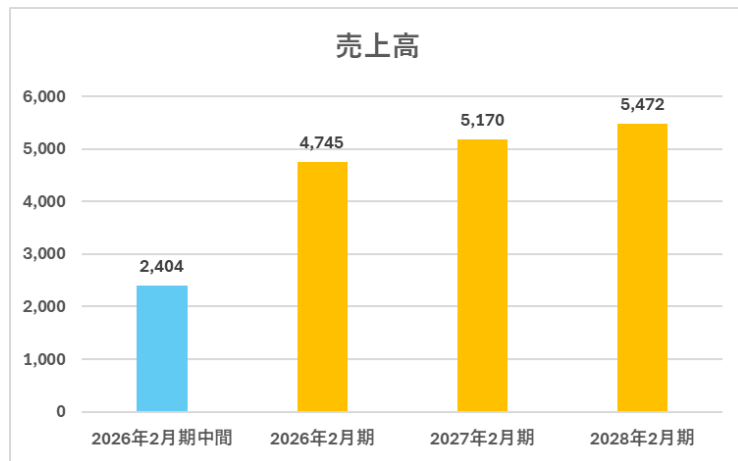
当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

当期の配当につきましては、1株当たり5円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり5円の期末配当を予定しております。なお、株主還元の一環として、自己株式消却を2025年4月17日に70万株、また先週10月17日に100万株、合計170万株実施しております。



中期経営計画進捗状況報告

グループ利益計画においては、順調に進捗しております
人的資本を基本とした環境整備に関しては、2026年2月期末に指標の実績を開示します



(単位： 百万円)	2026年 2月期2Q	2026年 2月期	2027年 2月期	2028年 2月期	【参考】 進捗率 (2026_2Q /2028期)
売上高	2,404	4,745	5,170	5,472	43.9%
売上原価	808	1,495	1,657	1,806	44.7%
売上総利益	1,595	3,249	3,513	3,665	43.5%
販管費	1,513	3,112	3,176	3,215	47.1%
営業利益	82	137	336	450	18.2%
営業利益率 (%)	3.4	2.9	6.5	8.2	41.5%



免責事項

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。また、本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部

管理部 広報IR課

E-mail: ir@atimes.co.jp

HP: <https://www.atimes.co.jp>

